

ネクスト通信

Vol. 98

発行日

令和6年9月10日

発行責任者

前田 潤悦

編集者

南澤 秀幸

小助川 輝

浅野 雄蔵

開所日ドライブ

8月24日(土)、おたすけ隊と手仕事科12名で水の郷さわら香取神宮に行ってきました。

朝10時前にマイクロバスでネクスト名木小を出発し、まず水の郷さわらに立ち



寄り、水辺を眺めながら散歩をしました。途中実物大の船や、有名な佐原のお祭りで使用する山車の上に載っていた装飾品、ポケットモンスターのマンホールなどがありました。みなさん「初めて来た」、「風が気持ちいいね」、「本物の船だあー」などとても楽しまれました。特にポケモンのマンホールにはみなさん興味津々でした。その後、香取神宮に行きました。大きな鳥居がある参道の入り口に寄り、ずらっと



並んだお店などを眺めたり、境内の方向に向かってお祈りをしたりして参拝気分を味わってきました。「この赤くて大きいのは何ですか?」、「今度お団子食べようね」などこちらでも楽しく過ごして頂けました。普段おたすけ隊と手仕事科のみなさんが一緒に出掛ける機会は少ないので、バスの中も楽しい会話で溢れていました。



シェイクアウト訓練

今年度もネクスト名木小では、シェイクアウト訓練を9月2日(月)に実施しました。

シェイクアウト訓練とは、「指定された日時に、身を守るための安全行動(まず低く・頭を守り・動かない)を1分間行なうという地震防災訓練です。ネクスト名木小ではシェイクアウト訓練に合わせて、避難訓練も同時に行ないました。



防災行政無線から震度6強の地震が発生したことを聞き、即座に訓練を開始しました。まずは地震直後の1分間は机の下に待機し、身を守るための安全行動をとります。その後、館内放送にて安全確認を呼び

かけ、利用者さんと一緒にいる職員も大きな声で注意を呼びかけます。安全確認をした後、職員が緊急連絡先一覧や点呼表を持ち避難すると同時に利用者さんの身を守りながら安全なグラウンドへ避難誘導をしました。

参加された利用者さんも真剣な表情で落ち着いて訓練に参加することができました。これも日

頃の訓練の成果が出ています。災害はいつ襲ってくるかわかりません。利用者みなさんの安心・安全を守るため、これからも各防災訓練を実施していきます。



9月の製作課題

おたすけ隊では、十五夜のお月見と稲刈りの後の田んぼの風景を作りました。お月見ではうさぎやタヌキなどに色付けし、両脇に根本慎也さんの作った稲穂を飾りました。お月様の真ん中にいるうさぎは篠塚直樹さんが描いたかわい顔が印象的です。最後にみんなで作った星を飾ってみました。

田んぼの風景は、みんなで案山子などを作り、飾ってみました。色鮮やかでみなさんの個性が出た案山子を描いてくれました。



た。特に藤原聡さんの描いた案山子はとてもかわいい作品になりました。

手仕事科では、青空をイメージして作品を作りました。やわらかい紙を花びら

にして彩とりどりに花を咲かせ、空に飛ぶトンボは紙を丸め、羽をすずらんテープで作りとても立体的な作品になりました。特にみんなで作った花はとてもカラフルで矢萩さんが塗ってくれた青い空と宮崎さんが描いてくれた白い雲との相乗効果が素晴らしい作品となりました。

選択メニュー

ネクスト名木小では、月に1回、好きな昼食を選べる選択メニューの日があります。利用者さんにとっては毎月のお楽しみ



の一つです。8月のメニューは、「チンジャオロース」、「焼き鳥」、「ヒレカツ」でした。メニューを選ぶ時から「何にしようかな?」、「焼き



鳥にする。やっぱりヒレカツ!」など楽しい声が作業室内に響いていました。普段の昼食もカロリー計算なども勘案しつつ美味しい昼食ですが、選択メニューの日は、みんな朝から「今日のお昼は選択メニューだね」などお昼が待ち遠しい様子が伝わってきます。

メニューを食べている時はみなさん黙々と美味しそうに召し上がり、食べている際にはとても静かですが、食後になると「すごく美味しかった」、「来月の選択メニューは何かな?」などもう来月のことを楽しみに考えている利用者さんもいらっしゃいました。



9月の予定

- 13日(金)名木小パン販売
- 16日(月)開所日
- 23日(月)開所日
- 28日(土)開所日 育成会例会

10月の予定

- 4日(金)古紙回収(東地区)
- 11日(金)名木小パン販売
- 25日(日)金名木小パン販売
- 27日(日)アーランドデイだいえい祭の



編集後記

9月は防災月間です。これは10万人以上の死者や行方不明者を出した関東大震災が1923年、9月1日に発生したことから定められたものです。先月、全国で大きな地震が立て続けに観測され、地震警戒宣言が発令されました。命を守る為に日頃から、南海トラフ地震や首都直下地震等、いつ起こるか分からない大きな災害に備える必要があります。ネクスト名木小では定期的に地震を想定した避難訓練を実施して、有事に迅速避難をできるようにしています。利用者さんも訓練の際には、真剣な眼差しで集中した様子で参加されています。利用者さんの命を守るように、日頃の訓練を積み重ねていきたいと思っております。(小助川)